

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-139	14-126	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
<p>No evidence for genome-wide interactions on plasma fibrinogen by smoking, alcohol consumption and body mass index: results from meta-analyses of 80,607 subjects. 血清フィブリノーゲン濃度と喫煙、飲酒、体格指数 (BMI) との関連において有意なゲノムワイド相互作用は存在しない: 80,607 名のメタ解析より</p>		
執筆者		
Baumert J, Huang J, McKnight B ほか		
掲載誌		
PLoS One. 2014 Dec 31;9(12):e111156. doi: 10.1371/journal.pone.0111156.		
キーワード		PMID
ゲノムワイド相互作用、フィブリノーゲン、飲酒、喫煙、BMI		25551457
要 旨		
目的:		
<p>血清フィブリノーゲン濃度は飲酒、喫煙、体格指数 (BMI) 等の環境因子のほか、多岐にわたる遺伝子と関連することが知られている。本研究では、血清フィブリノーゲン濃度との関連において、遺伝子と環境因子間に相互作用があるのか否かをメタ解析の手法で検討した。</p>		
方法:		
<p>欧州系人種を対象とする 22 研究から 80,607 名のデータを用い、ゲノムワイド相互作用解析を実施した。個々の研究における各遺伝子多型と環境因子との相互作用項を含めた線型回帰分析に加え、固定効果モデルを用いたメタ解析を行い、相互作用項係数を推定した。</p>		
結果:		
<p>血清フィブリノーゲン濃度との関連において、飲酒、喫煙、BMI などの環境因子と遺伝子多型間の有意な相互作用は一切認められなかった。有意ではないが、ある遺伝子多型 (rs10519203) と喫煙との相互作用は示唆に富むものであった ($P = 6.2 \times 10^{-8}$)。</p>		
結論:		
<p>飲酒等の環境因子と血清フィブリノーゲンとの関連におけるゲノムワイド交互作用について本研究では有意な交互作用が認められなかった。今後の更なる検討が望まれる。</p>		